



慈光

第119号

令和8年1月



文化祭（職員有志のよさこいソーラン）

編集・発行

社会福祉法人 長井福祉会

特別養護老人ホーム慈光園

慈光園デイサービスセンター

慈光園中央デイサービスセンター

在宅介護支援センター慈光園

ケアハウス ウエルフェア慈光園

発行責任者 皆川善典

山形県長井市小出3453番地

TEL 0238(88)2711

FAX 0238(88)2712

ホームページアドレス

<http://nagai-jikouen.jp/>

印刷 (株)サンノー企画印刷



ベストプラクティス企業に選ばれ思うこと

ケアハウス園長 志 釜 幸 喜

厚生労働省では、過労死等を防止することの重要性について、理解と関心を深めるために、十一月を「過労死等防止啓発月間」と定め啓発等の取組を行っています。山形労働局ではその一環として実施している「過重労働キャンペーン」の取組の一つとして、働きやすい職場づくりや長時間労働削減などに積極的に取り組んでいる「ベストプラクティス企業」を選定し取組事例の紹介を行っています。

今年度は長井福祉会が選定され、紹介いただくとともに、十一月四日には山形労働局島田局長様にお出でいただき、事例の紹介や職員との意見交換などをしていただきました。

このことは、当会が十年ほど前に今後労働人口が減少するところが明白である事実から、「外国人介護人材の採用」及び「介護ロボット等のテクノロジー導入」を検討し、生産性向上のための介護DX化への取組が評価されたものと嬉しく思います。令和二年度に特別養護老人ホームでインカムを導入したことを始めとして、現在では介護ソフトアプリ、タブレット、骨伝導インカム、ミスト浴槽、移乗サポートロボット及びご利用者の状態をリアルタイムでモニタリングできる「眠りスキャン」などを活用しています。これにより時間外勤務の減少、休憩時間の確保や身体的負担の減少に繋がっています。

また高価な機器を導入するだけでなく、職員一人ひとりが知恵を出し合い日々の業務に潜む無駄を徹底的に洗い出し業務の生産性を上げることも欠かせません。中央デイサービスセンターでは、このことを研究し十二月四日五日に山口県山口市で開催された全国老人福祉施設大会・研究会議で発表してきました。

当会では以前から毎年各部署で研究発表を行い研究成果を業務に活かしています。長年の取り組みが認められたとも言えるのではないのでしょうか。

少子化が益々進行し介護人材不足が更に深刻になり状況が改善することは難しいなかで、これからはICT導入を含めた介護DX化を更に進めて効率のいい介護サービスを作りあげることとはもはや必然です。しかし人の手の介護が無くならないことも必然です。このベストプラクティス企業に選ばれたことをきっかけに日本人はもとより、外国人の方にも選ばれる施設にならなければいけないと強く思ったところです。

中央デイサービス、 全国老人福祉施設大会・研究会in山口で発表！

9月18日にホテルメトロポリタン山形にて行われた「東北ブロック老施設大会・研究会」への出場を決めた中央デイサービスセンターの研究発表「サービスの質は、仕組みで上がる」現場発！実践的生産性向上の取り組み」は、審査員の方々より高評価をいただき12月4日～5日に山口県で開催される「第4回全国老人福祉施設大会・研究会」JSフェスティバルin山口にて東北ブロックの代表として出場することとなりました。

いざ、山口県へ！

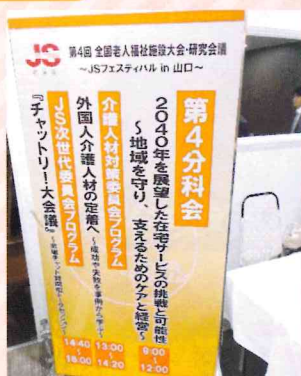
東北ブロック大会の発表からさらに入念な準備を重ね12月いざ山口県へ出発です。

新幹線と飛行機を乗り継ぐこと7時間、山口空港に降り立ちました。分科会での研究発表は2日目になり、6分科会あるうちの「在宅・デイ」の第4分科会にて発表しました。8事業所が発表し張り詰めた空気の中でも落ち着いて発表を終えた牛澤さんでした。

結果はなんと「奨励賞」をいただくことができました。

今回全国で発表を行った牛澤翔太さんから一言をいただきました。

今回の実践研究発表会では、中央デイサービスで実施してきた内容を多くの参加者の前で発表するという貴重な機会をいただきました。発表に向けて資料作成やデータ整理を行う中で、自分たちの活動を改めて客観的に振り返ることができ、多くの学びがありました。また、他施設の発表者との交流を通して、同様の課題に向き合う仲間が多くいることを知り、非常に励みになりました。今後は、発表で得た意見や気づきを現場のケアに活かし、ご利用者の生活の質向上に向けた実践をより一層深めていきたいと思っています。





ご家族と一緒にパチリ

夏祭り

毎年この焼き鳥が
楽しみの一つです!!

大迫力の黒獅子舞...

毎年の焼き鳥が
楽しみの一つです!!




長寿 7名
百寿 7名
白寿 6名

ご長寿おめでとうございます

敬老祭

百寿100歳
中嶋ちよ様

百寿100歳
鈴木たけ様

百寿100歳
松崎ちよ様

長寿105歳
柳橋五郎次様

合同慰霊祭



パン食い競争じゃなくて
パン取り競争になっちゃった(笑)



秋祭り



白ゆり保育園の皆さんも
遊びに来てくれました



ご利用者様による創作活動の展示



そらいろこども合唱団の
ステキな歌声にみんな感動



ケアハウス入居者による
バイオリン演奏

職員有志の
よさこいソーラン!!



これは力作ですね!!

文化祭



同日献血活動も行いました



「ベストプラクティス企業」に選定されました



この度、社会福祉法人長井福祉会は、山形労働局より「ベストプラクティス企業（働き方改革の優良事例企業）」として選ばれ、関係者の皆様が視察に訪れました。これは、介護ロボットやICT機器の導入による「生産性向上」と、それによる「サービスの質向上」が高く評価されたものです。

この取り組みの原点は2015年の人口ピラミッドが示す「働き手が減少する未来」に強い危機感を抱いた私たちは、限られた人数でも質の高いケアを維持し続けるため、早期からテクノロジー導入の検討を重ねてきました。

現在、当法人では「Wii Fit インカム」「見守りシステム（眠りスキャン）」「タブレット記録」などを活用しています。決して機械任せにするわけではありません。データに基づいたケアで夜間の訪室を減らして利用者様の安眠を守り、記録業務を効率化して生まれた時間を「ご利用者様と触れ合う時間」に充てたりと、テクノロジーは「人の手による温かいケア」を充実させるためにあります。これからも最新技術と職員の知恵を融合させ、利用者様にも職員にも選ばれる施設づくりに努めてまいります。

（担当 須貝）

「スマイル企業」に認定されました

この度、山形県より令和7年9月1日付で「やまがたスマイル企業認定制度」で最高ランクの「ダイヤモンドスマイル企業」に認定されました。

この制度は「ワークライフバランス」「女性活躍」の推進などに積極的に取り組んでいる企業等を県が認定するもので、認定基準の達成数によって、3つのランク（スマイル企業・ゴールドスマイル企業・ダイヤモンドスマイル企業）に区分されるものです。

また「ダイヤモンドスマイル企業」の認定と同時に「やまがた女性活躍リーディング企業」にも認定されました。「ダイヤモンドスマイル企業」のうち女性管理職の割合が認定基準を満たした企業が、女性管理職登用に積極的な企業として別途認定されるものです。

加えて、スマイル企業の認定を受けるにあたり、認定基準の一つでもある「やまがたイクボス同盟」に加盟しました。「イクボス」とは、「育児」と「ボス（上司）」を組み合わせたもので、部下の仕事と子育てなどの家庭生活を応援する上司という意味です。加盟企業・団体が相互に連携しながらワークライフ・バランスの普及拡大を進め、働きながら安心して子どもを産み育てられる社会の実現を目指す取り組みです。

今回いただいた認定を、働きやすい職場づくりに取り組むうえでの良い機会とし、地域の皆様の信頼を得てご期待に応えられるようこれからも努めていきたいと思っております。



編集後記

今回、掲載のとおりJ Sフェスティバルで中央デイサービスセンターが奨励賞を受賞するという大変な栄誉をいただきました。日々の業務の中で積み重ねてきた実践や工夫がこのような形で評価されたことは私たち職員の誇りです。今回の受賞は幅広い関係者のご支援があつてこそその成果だと感じております。これを励みに私たち広報委員もより良い情報をお届けしてまいります。



広報委員

◎橋本 恵 菅間 薫
○飯澤 亮平 小関 裕子
後藤めぐみ 孫田 貴博
酒井 憲伸 大山 真弓
アウンビエン